

審 議 結 果

次の審議会等を下記のとおり開催した。

審議会等の名称	第2回益田市総合振興計画審議会
開催日時	令和2年8月11日（火）13：30～16：30
開催場所	益田市役所3階 大会議室
出席者	<p>[審議会委員] 藤原眞砂会長、藤井幸子副会長、森本恭史委員、松本満委員、桂木正則委員、村岡詩織委員、末成弘明委員、吉村里恵委員、石川洋紀委員、草野祐一委員、豊田芳明委員、廣兼重孝委員、中村克也委員、舟橋道恵委員、大賀肇委員、中野純委員</p> <p>[事務局] 益田市 志田原政策企画課長、山本総合戦略室長、岡藤主任主事 コンサル ランドブレイン株式会社</p>
議題等	<ul style="list-style-type: none"> ・計画全体の構成イメージについて【資料1】 ・益田市の主要課題（案）について【資料2】 ・ワークショップ代替アンケートの結果【資料3】 ・基本構想（案）について【資料4】 ・今後のスケジュールについて【資料5】
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	1名
問合せ先	政策企画局政策企画課 電話 0856-31-0121

審議経過

1	開会
2	議題
	(1) 計画全体の構成イメージについて【資料1、参考資料、資料5】
	<p>計画全体の構成イメージについて、事務局から説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画は、基本構想（10年）と基本計画（5年）、総合戦略（5年）で構成する。 ・本日の審議会で審議いただくのは、基本構想の「2 益田市を取り巻く状況」、「3 益田市のめざす姿」、「4 将来像を実現するための基本目標」の部分となる。
委員	「実施計画」と「総合戦略」とあり、資料1と参考資料とで、言葉が違っている。重点戦略という言葉も出てくるため、このあたりの文言の統一が図られているかが気になる。
事務局	実施計画は、今年度策定するものではなく、来年度以降に策定する。総合戦略は、総合振興計画の第3章に盛り込む予定である。実施計画はこれとは別冊で作る。実施計画と総合戦略は別のものであるのご理解いただきたい。
委員	今回策定する部分については、基本構想、基本計画であるということは理解している。基本計画、総合戦略、重点戦略という言葉が出ており、関係性と内容がわかりにくい。この辺りが一目でわかるよう整理したものがあれば良いという指摘である。
事務局	次回わかりやすく整理したい。
委員	基本構想の内容は、かなりボリュームがある。このスケジュールで大丈夫かどうか気になる。審議会でしっかり議論できるような流れを組まれた方が良いのではないかと。事務局はこれで大丈夫だと考えているという認識で良いか。
事務局	全体のスケジュールを先に説明する。資料5をご覧ください。

	<p>本日は第2回で、基本構想について主に説明する。</p> <p>来月9月4日が第3回。第2回でいただいたご意見を踏まえての修正点と、基本計画を説明させていただく。</p> <p>第4回では、基本構想と基本計画について合わせて審議し、主な審議はこの回で終了の予定だ。</p> <p>11月には、各内容について、庁内で整理、精査し、修正する期間を設けている。</p> <p>12月にパブリックコメントをし、また修正があれば、第5回の審議会で確認する。</p> <p>タイトなスケジュールになるので、なるべく分かりやすい説明となるようにしたい。会議の後でも、不明点があれば、メール等で意見をいただいて、随時修正しながら進めていきたい。</p>
委員	承知した。
(2) 益田市の主要課題(案)について【資料2】	
<p>益田市の主要課題(案)について、事務局から説明</p> <p>○前回の審議会で説明した内容から、主に次の点を修正した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「現状分析」の③文化・産業の状況について、中世益田に関するストーリーが日本遺産の認定を受けたことを追加。 ・④生活環境・防災・都市基盤の状況について、高津川が水質調査で「水質日本一」となったことを追加。 ・「ヒアリング調査結果から」のV価値観の変化について、新型コロナウイルス等の影響による価値観の変化に関する記述を追加。 	
委員	<p>主要課題については、前回委員から指摘のあった事項が反映されているかどうか着眼点となる。赤が問題点、青が良いところ、市民、高校生と色で色別しているのは親切だとは思いますが、前回からバージョンアップ(修正)した部分を太字とするなど、わかるようにしていただきたい。</p>
委員	<p>前回の指摘は反映されているのではないかと思います。ただ、2月(前回)の段階と大きく社会が変化していると認識して議論をしなければならないと思う。</p>
委員	<p>前回、事業承継の話をさせていただき、産業の中に現況を入れていただいている。今回はこれに加え、コロナの影響も含めるべき。商工関係の状況は、以前よりもさらに悪化している。</p>
委員	<p>その他、事務局の方で追加・修正された箇所はあるか。</p>
事務局	<p>委員からご指摘のあった医師の高齢化を追加した。</p>
委員	<p>追加部分については良いと思うが、コロナがあり、まったく状況が変わっている。これがいつまで続くのかが、医療、介護の関係者が抱えている不安で、なんとも答えようのない状況が続いている。</p>
委員	<p>シンプルな社会を目指さなければならない。</p> <p>例えば、市役所に来る人が今の半分になるとして、市役所に来なくてもやりとりや仕事ができる社会など、人が動かなくても良い社会を目指すべきではないかと思う。計画もそれに沿う形に寄った方が良いのではないかと思う。</p>
委員	<p>多くの方が収入減となった。医療、介護はロボットだけではできず、人でないと担えない。</p> <p>主要課題から福祉という文言が消えているのが残念だ。益田市でも医療、福祉関係に従事されている方がたくさんおられる。これから高齢化率を考えて、マイナスで捉えるのではなく、現実を捉えたなかで、10年後どれだけ支える人間がいるのか、どういう手当が必要なのかということを中心に議論しなければならない。</p>
委員	<p>コロナの大きな局面がある。他の委員の皆様にも、忌憚のないご意見をいただきたい。</p>
委員	<p>教育・子育ての状況について、子育て環境の改善が良いところと書いてある。しかし、育児休暇の取得率が上昇しただけで、子育て環境の改善というのを一括りに評価するのはどうかと思う。</p>

委員	<p>本日配布された統計資料を全て目を通してはいるわけではないが、表面的な数字の上下だけで考察や断定をしてはならない。</p> <p>例えば、アンケート調査で「益田市は高齢者、障害者に優しい」と評価されているが、対象者数・対象者の層に偏りがある本アンケートでは、当事者の声が拾い切れてはいないと思う。様々な方が計画書上の表現を見るのだから、表現は今一度注意して見返していただきたい。</p> <p>「観光施設が少ない」「マッチングがうまくいっていない」など、物理的な資源の不足だけが問題なのだろうか。限られた資源を使う能力の不足が問題の可能性もある。以上のように、書き方を見直し、工夫していく必要がある。</p>
委員	A3の1枚で端的に表現しているが、全ての表現を書ききるの難しいとも考える。
委員	ヒアリング調査を実施しているが、主要課題においては大きく変化がないのが気になる。
事務局	のちほど、資料4でお示しする。
委員	その他、気づいた点があれば事務局に連絡をする形でも良いのか。
事務局	結構だ。ご意見をいただければと思う。
委員	主要課題は産業・文化、入れ替えても良いのではないかな。
委員	<p>主要課題の1つ目にある、「誰もが健康で安心して生活できる環境」があれば、全ての項目が課題解決につながっていくのではないかなと思う。考え方もコンパクトになっていく中で、誰もが安心して生活できる環境が必要であり、ここが最終目標なので、これを他のものと同じ位置づけにしてしまうと不自然だ。そのため行政が運営していかなければならない、という考えになるのだと思う。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおり、「誰もが健康で安心して生活できる環境」がゴールになる。これについても、資料4で説明するが、簡単にお話しすると、資料4では、持続可能な開発目標への取組、スマートシティの取組などを推進していくために、新たな横断的な目標を掲げている。益田市の主要課題として、人口減少、持続可能なまちづくり、最終的には、安心して生活できるということを目指していることを本計画の特徴とする。</p>
(3) ワークショップ代替アンケートの結果【資料3】	
<p>ワークショップ代替アンケートの結果について、事務局から説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本来であれば、3月から6月に計3回のワークショップを開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止したため、6月に、市民・高校生を対象に代替アンケートを行った。 ・アンケートでは、「将来、益田市に残したいことや益田市のあるべき姿」を尋ね、回答いただいた内容を「環境資源」、「産業資源」、「社会資源」、「人的資源」の4つに分類した。 ・アンケートでは、あわせて「まちの将来像」の案も記述してもらった。 	
委員	資料4の前段の説明ということになる。ご意見はあるか。
委員	アンケートの調査票に関して、回答内容が記入例にひっばられる可能性もあると感じたが、意見が出ているものは、上にある方が比較的回答が多かったということか。それともランダムに書かれているのか。
事務局	資料3に掲載しているものは、ランダムで選んだものである。
委員	承知した。幅広く回答があったのだと感じた。一方で、回答者の属性が多かったもの、傾向が似ているものをまとめられると良かった。
事務局	再度整理させていただく。
委員	どういった調査票で実施したのか。
事務局	本日はお示ししていない。

委員	アンケート結果は審議会の中だけの資料なのか、もしくは一般に公開するものか。
事務局	今後、ホームページに掲載を予定している。
委員	アンケートの自由記述に関して、例えば「農業物」という文言があり、これは「農産物」の間違いかと思う。
事務局	アンケートの報告としては、回答者の意図とは別のものにならないよう、回答者の回答内容をそのまま掲載する形としている。計画掲載時には精査をする。
(4) 基本構想（案）について【資料4】	
<p>基本構想（案）について、事務局から説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料2で説明した7つの基本目標に加え、横断目標を設定した。 ・横断目標には、人口減少対策と持続可能な地域づくりのため、人材育成、協働、関係人口、先端技術の活用に関することを盛り込んでいる。 ・資料3で説明したワークショップ代替アンケートの結果から、4つに分類した益田市の資源について、関係性を整理した（資料4 7頁）。環境、産業、社会の循環の中で、それぞれに「人」が関わることで、持続可能なまちづくりができるというイメージとなる。 ・市においては、「益田市協働のまちづくり推進条例」を本年3月に制定し、協働のまちづくりを進めているところ。この条例の理念は、国連の示すSDGsの17番目のゴール「パートナーシップで目標を達成しよう」と合致するものであり、これまでの市の施策も踏まえて、益田市版SDGs（MSDGs）を設定した。 	
委員	主要課題は、現状やアンケート、ヒアリングを受けて整理したものとなっている。そのほか文言について加えた方が良いものがあれば、ご意見をいただきたい。
委員	<p>1点目は、「(3) 地域資源を活かした魅力的な産業の創出・育成が必要」とある中で、「関係人口の創出に結びつけるため」以降との文言の整合性が気になる。また、外国人観光客については増加傾向と言いたいのではないかと考える。</p> <p>2点目は、4頁の(7)については、財源を稼ぐという視点の文言が必要ではないかと考える。</p>
事務局	<p>1点目については、タイトルに観光に関する観点の文言がないため、タイトルを検討する。また、外国人観光客については再度分析する。</p> <p>2点目は、ご指摘のとおりであるため、修正を検討する。</p>
委員	資料2にある主要課題は、7項目で確定なのか。
事務局	7項目として進めていく。
委員	7項目プラス1つということだと思う。1から7までのどの項目にも人口減少というのが絡んでいるということで、8番目を、くし刺し的な位置で、人口減少の問題として位置づけるべきではないかと考える。
委員	人口減少に関してはそのとおりであるが、今後はある程度人口を確保するという考えが必要だと思う。10年前の予測ほど人口は減っていない。また、「本市で育んだ若者の定住」という文言をどこかに加えてほしいと考えている。
事務局	人口については分析を進めている。9月4日の次回審議会では人口推計のデータをお示しする。若者の定住についても、文言の追加を検討する。
委員	資料の見せ方について、どこを修正したのか分かるようにしてほしい。
委員	<p>益田の市街地の状況と山間部の状況とでは、課題の緊急度が違うと思う。そこに住んでいる人の問題意識を探らないと、計画として何が変わったのかと思われないか心配だ。</p> <p>また主要課題(1)については、高齢者は健康づくりの活動を良く行っており、健康増進課も体操を各地域で実施している。そのあたりの情報発信ができればと思う。</p> <p>(6)は、施設を管理委託することでNPOなどを積極的に育てていくなどの取組が益田市では不足している。他の団体の良いところを引き出しながら取組を進めていくとうまくいくのではないかと考えている。</p>

事務局	中山間地域などの課題について、追加を検討する。
委員	うまくまとまっている。大切どころが（８）に収まっていると思う。全体の文言は精査が必要。よりわかりやすい、身近に感じられる言葉にすることが大事だ。
委員	今のご指摘は、課題として残しておいてほしい。
委員	主要課題（３）の「地域資源を活かした魅力的な産業の創出」は、農業・水産業のみ注目されているため、その他の産業に関する課題も記載いただきたい。また、若者が定住するには、産業の多様性が重要なため、新産業の創出なども重要なので、加えてほしい。
事務局	検討する。
委員	若者が地域に残ってもらうためにも、産業の魅力化が必要。雇用の受け皿となるような魅力ある事業を育てることも重要だ。人口減少対策という観点では、雇用の受け皿という意味合いのものがあればよいと思う。
委員	どの地域においても課題があると思う。益田市としての課題がピックアップできればより良くなると思う。
委員	主要課題（１）に「安心して」とあるが、失敗した場合、どのようにストッパーをかけるかなど、崩れた場合の内容も入れ込んだ方がよいのではとも思う。限界集落が崩れた場合、どのようにするか、セーフティネットになるものを入れ込んだ方がよいのではないかな。
事務局	限界集落の例を言われていたが、実施計画や総合戦略で対策していく予定。ご指摘いただいたようなマイナスの要素もあるかと思うので、今後検討していきたい。
委員	中山間地域が、これから存続できるのかという問題だ。地元で雇用創出できることがベストだが、今後維持するためには、近くの都市の企業に働きに行くという動きもあると思う。益田市において、それができるのかどうかを分析しなければ、先ほどのご指摘の点は書けないと思う。
委員	まちの将来像案に「支え合い」という文言があるが、支えられるところはいいが、支え合えないところをどうするのか、というのが気になる。
委員	現状分析を徹底的にすれば、別のシナリオができるはずのものを、当面安心できるような言葉を使うことによって、安心してしまう。そういうところを警戒しないといけない。
委員	どこでも仕事ができるとのやりとりができる時代になっている。都市部の仕事を益田でやるということもできる。人口減少をそういった形でとらえていくことも重要だ。 主要課題（１）の４つ目にある「安心して子どもを産み育てられる」という言葉は、何年も前から使用している。まだそれが課題といわれると、いつになったらできるのかと思う。何ができていて、何ができていないかを精査しないとけない。
委員	「住民主体」とあるが、いかに住民が主体となって「地域共生社会」をつくりあげていくか、それを行政がいかにサポートしていくかが重要。そういった観点からの仕組みづくりがあれば良いと考えた。
委員	自助、共生、といった助け合いのニュアンスが必要と思う。
委員	全体を通していくつか指摘事項がある。 一点目は、計画書には地域性と時代性を盛り込むことが重要であると考えている。2020年の益田市が、この先10年間を見据えて触れておくべきことが書かれているのかが疑問である。例えば、老老避難や老老介護なども、2020年以降の益田市においてより深刻な問題になってくるだろう。 二点目は、「コロナが問題」「人口減少が問題」というよりも、そこに柔軟に対応できない行政の施策、地域社会のあり方が問題で、限られた人数の中で回す仕組みの欠如が問題の本質だと思う。

	<p>加えて、問題点への対応だけでなく、オンラインによる観光のあり方やマイクロツーリズムなど、新しい時代潮流への対応についても掲げられるべきではないだろうか。</p> <p>三点目は、セクションや主体を越えた連携の必要性だ。多分野にわたるコロナ対応が象徴したように、益田市のみでは対応に限界がある。市町や県との連携の中で益田市の位置付けを述べるという視点も重要であると考え。</p>
委員	<p>地域のリアリティを踏まえたアイデアを散りばめたものにした方が良いということだと思。</p>
委員	<p>今後、コロナの影響は避けて通れない。シンプルな社会にしないと対応できないと思う。住民に理解してもらえよう、コンセプトが見える形で計画を作ってもらいたい。</p>
委員	<p>「主要課題を7つ」という文言は違和感がある。整理しやすいのは、大命題の8つ目があり、その中で7つがあるという形の方が良いのではないかと考えている。コロナの問題をどう反映させるかは今後議論すべきところと思う。</p> <p>また、総合戦略とどうリンクさせるかの議論も必要だ。</p>
委員	<p>コロナの影響は避けられないと考える。「社会潮流」にその点は入れないといけなと思うし、萩・石見空港やグラントワの現状も書き込んでいかなければならないのではと思う。</p> <p>主要課題の(4)の2つ目に「狭隘道路が残る地区」とある。益田市にはかなりの狭隘道路があり、対応しようと思うと膨大なお金がかかる。最上位の計画なので、課題に挙げるべきか検討した方が良いのではと思う。</p>
委員	<p>「益田市の特性」のところの問題と思うのは、「進学・就職・転職を契機とした若年層の流出」があることだ。また、病院数のところや介護のところでは、年をとってしまふと津々浦々で問題も出てくる。そういったなかで、特に益田市ならこれが問題というところを強く見せてほしいと思うので、重点を置くべき部分を太字にしてほしい。</p> <p>また、いままでどおりの行財政では無理と思う。もっと進化して、多様性と柔軟性が必要ではないか。</p>
委員	<p>各委員さんから時代を反映したような補足の文言をいただいて、計画書のどこかに危機意識を反映したようなものを入れてはいいかがか。</p>
委員	<p>シンプルというのは大事と思う。わかりやすい言葉が重要だ。各主要課題にキーワードが入っているが、この文言が入っているとわかりやすい。また、2頁目からの各課題のタイトルについて、「課題」なので、「～が必要」という文言より、「～づくり」という形が良いのではと思う。</p>
委員	<p>基本的な話だが、国連のSDGsがあるが、総合振興計画は、SDGsとの連動や整合がないといけないものなのか。</p>
事務局	<p>益田市ではSDGsを取り入れて、総合振興計画を策定することとしている。また、他市でもそのような流れとなっている。</p>
委員	<p>国連が決めたことだが、すでに多かれ少なかれ、やっていることだと思。位置付ける必要はあるか。他がやっているからやる、というのはいかがなものか。</p>
委員	<p>危機意識を反映したものは必要だが、他方で、SDGsなど基本的に押えていくべきものも必要である。バランスが重要であると考え。しかし、国連の手法はあくまで手段として使いこなすべきだ。</p>
委員	<p>第5次と第6次はがらっと違う計画ではなるのではないかと考えている。今、一番身近にあるのは感染症だと思。</p>
事務局	<p>コロナに対応する施策については、各課に照会をかける予定だ。益田市ならではの特性を目立たせるようにと考えている。</p>
委員	<p>14頁に基本目標のイメージが載っているが、MSDGsの役割について、もう少しメリハリをつけて位置付けないと、施策の再掲になってしまう。少し抽象的になっているのが気になる。基本目標を束ねたものになっていて、この図では横断目標と機能が被っているように見え、分かりにくくなっている。</p>
(5) 今後のスケジュールについて【資料5】	

議題「(1) 計画全体の構成イメージについて」の中で説明したため、ここでの説明は割愛。特に意見なし。

3 その他

事務局

議題(3)でご説明した「まちの将来像」の案について、ご提案をいただきたい。
会議終了後、様式をメール等でお送りするので、皆様の案をご記入のうえ、ご返送をお願いします。